

総務部長	五十嵐 久英君	市民部長	渡辺 成剛君
産業部長	見辺 太君	総務課長	渡辺 忍君
企画定住課長	渡辺 孝志君	財政課長	山口 和美君
能生事務所長	土田 昭一君	市民課長	川合 三喜八君
環境生活課長	高野 一夫君	福祉事務所長	嶋田 猛君
健康増進課長	池田 隆君	商工観光課長	大嶋 利幸君
農林水産課長	猪又 悦朗君	建設課長	五十嵐 博文君
復興推進課長	斉藤 喜代志君	ガス水道局長	樋口 昭人君
消防長	小林 正広君	教育長	井川 賢一君
教育次長	磯野 茂君	教育委員会こども課長	磯野 豊君
教育委員会こども教育課長	冨永 浩文君	教育委員会生涯学習課長	
		中央公民館長兼務	穂 苜 真君
教育委員会文化振興課長 市民会館長兼務	伊藤 章一郎君	市民図書館長兼務	

〈事務局出席職員〉

局	長	松木 靖君	次	長	松村 伸一君
係	長	上野 一樹君			

〈午前10時00分 開議〉

○議長（中村 実君）

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

欠席通告議員は、ありません。

定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。

日程第1．会議録署名議員の指名

○議長（中村 実君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、7番、佐藤 孝議員、16番、古川 昇議員を指名いたします。

日程第2．一般質問

○議長（中村 実君）

日程第2、一般質問を行います。

12日に引き続き、通告順に発言を許します。

東野恭行議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。〔2番 東野恭行君登壇〕

○2番（東野恭行君）

おはようございます。清政クラブの東野です。

発言通告書ののっとり、1回目の質問をさせていただきます。

1、コロナ禍における糸魚川市内経済への影響について。

2020年4月、コロナ禍における緊急事態宣言が発令され、日本国内は今までに経験したことのない経済危機に見舞われ、現在もその状況は続いております。

糸魚川市においても例外ではなく、飲食店を初めとした店舗、企業が新型コロナウイルス感染症の打撃を受けております。市内外のイベント中止や、インターハイ、甲子園大会などの中止も相次ぎ、それらに伴い経済活動は落ち込み、多くの落胆の声を聞いています。

今後は「ウィズ・コロナ時代」に向けた取組を進めていくことで、新しい生活様式を確立していかなければなりません。元どおりの生活に戻るといよりもニューノーマルな生活へ移行していくと考えます。

糸魚川市においても、オンライン化とデジタル化は避けて通れず、社会全体で進めていかなければならないと考えますし、それらに取り残される人がいないように包摂的に対応し、質の高い成長を遂げられるよう取り組んでいただきたいと思います。

(1) 2020年度における現時点での「市内総生産の落ち込み予測」について伺います。

(2) 糸魚川市における失業や廃業の実態と、防止に向けた取組について伺います。

(3) 経済活動が再開される中、いつ失業するか分からないという不安から消費の落ち込みは続くと考えられるが、「糸魚川創成塾2020」開催における懸念材料はないか伺います。

(4) 政府は2020年5月27日、第2次補正予算案を閣議決定し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充で予算計上しているが、糸魚川市として第2波の備えとして考えられる施策を伺います。

2、コロナ禍における生活様式の変化とその対応について。

(1) 糸魚川市における新型コロナウイルス感染症に便乗した悪質商法・送りつけ詐欺、保健所を名乗る悪質な電話等の被害状況を伺います。

(2) 家庭学習環境の整備について、リモート環境におけるWi-Fiの設備は不可欠と考えるが、設備投資に関する支援策の考えを伺います。

3、リモート社会を見据えた糸魚川市の取組について。

(1) 糸魚川市を含む31事業所による「オンライン版糸魚川就活フェア」が開催されたが、オンライン化による利点と、次回開催に向けた改善点・反省点を伺います。

(2) 今後、新型コロナウイルス感染拡大の最悪な状況を踏まえ、リモート機能を駆使した議会運営における行政・議会双方の準備と「法令整備」が必要であると考えているが、これら環境整備による行政側の考えを伺います。

(3) 糸魚川市のホームページを窓口として、市内小・中・高校生の部活動代替大会が観戦できる「無観客ライブ配信」の支援策を検討できるか伺います。

(4) 東京から新幹線で2時間。海も山も近く、食べ物もおいしい糸魚川市への「サテライトオフィスの誘致」、「コワーキングスペース開設」等の検討はあるか考えを伺います。

4、Go To Travelキャンペーンに向けた市の取組について。

(1) 糸魚川市において、コロナ禍の収束を見据え、地域の多様な資源を活用した着地型観光の提案と発信は、どのような工夫をされ、行うのか伺います。

(2) マイコミ平に向かう林道「福来口線」の修復整備について、進捗状況と開通の見通しについて伺います。

(3) ジオパルに設置される予定の「トワイライトエクスプレス」にて、経済活動を実施する考えはあるか伺います。

(4) 大糸線において「雪月花」を運行する観光商品の考えはあるか伺います。

(5) コロナ禍の収束を見据え、グランフォンド糸魚川開催の支援について、糸魚川市はどのように考えるか伺います。

以上をもちまして、1回目の質問を終了します。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

東野議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、飲食業、宿泊業など観光関連の事業所は、大幅に落ち込むことが予測されますが、当市の総生産額で大きなウエートを占める製造業の先行きが不透明なため、現時点での予測は困難であります。

2点目につきましては、現時点では感染症拡大を直接的な原因とした失業や廃業の確認はいたしておりませんが、国、県、市の様々な支援制度を最大限に活用して事業を継続していただきたいと考えております。

3点目につきましては、現在、昨年度を上回る基礎講座のお申込みを頂いており、予測どおり開催してまいります。

4点目につきましては、感染拡大防止と社会経済活動を両立させる新しい生活様式に対応した施策が必要と考えており、今後の感染状況を踏まえ、民間事業者の皆様と連携し、適切に対応してまいります。

2番目の1点目につきましては、マスクの送りつけが1件ありましたが、被害はありませんでした。

2点目につきましては、未整備世帯に対し、モバイルルーターなどの貸出しを考えておりますが、

通信費負担など解決すべき課題もあるものと捉えております。

3番目の1点目につきましては、このような状況の中で実施できたことを評価しております。今回は、面談希望の有無に関わらず、面談できる方式について検討してまいります。

2点目につきましては、今後、リモート会議等を行えるよう行政としては、その環境整備を行っていきたいと考えております。

3点目につきましては、市としてライブでの配信は困難であると考えております。

4点目につきましては、企業のリスク分散や働き方改革による効率アップなどの面で大変有効と考えられることから、ピンチをチャンスと捉え、今後の新たな雇用創出、地域の活性化に結びつくよう取り組んでまいります。

4番目の1点目につきましては、3密になりやすい大都市圏への旅行に不安を感じている方も多いため、県内や隣県地域などに対して体験メニューや修学旅行など着地型観光の営業や情報発信を進めていきたいと考えております。

2点目につきましては、本会議に復旧予算を提案いたしており、早期の開通に向けて取り組んでまいります。

3点目につきましては、通常は無料での公開を予定しておりますが、イベントやツアー開催時などにおける車内での食事提供など、地元飲食店と連携した取組を考えております。

4点目につきましては、多額な運行経費がかかることから、現時点では大糸線乗り入れによる観光商品の販売は、予定いたしておりません。

5点目につきましては、現在、新たなサイクルイベントの立ち上げに向けた支援を行っているところであり、引き続き開催実現に向け、支援してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

それでは、2回目の質問をさせていただきたいと思っております。

2回目の質問なんですが、少し順番を変えて大きな2番目、コロナ禍における生活様式の変化とその対応についてから、順次質問させていただきたいと思っております。

(1)の糸魚川市における新型コロナウイルス感染症に便乗した悪質商法・送りつけ詐欺、こちらについてですが、再度、担当課から内容を教えていただきたいと思います。その中で被害が少ないということ、1件の送りつけがあったということで報告いただきましたが、その理由、考えられる理由も教えていただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

おはようございます。

今ほどの質問に対してお答えいたします。

悪質商法、送りつけ詐欺などの窓口につきましては、環境生活課消費相談窓口で受付をしておりますが、今回、市長答弁に申しあげましたのは、心当たりのないマスクが自宅に郵送で届いたという事案でありまして、こちらにつきましては、今後、請求が来る可能性があるということから、14日間商品を保存するよう連絡をさせていただき、また、何か改めて請求等があれば、こちらのほうにご連絡いただくという約束になっております。

また、全体を通しましてマスクのお問合せというのはあるんですが、やはり高いですとかそういったものが多くて、実際の詐欺被害というのは発生していないようです。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。被害状況が少ないというところがすごいなということと、まずそういった被害といますか、そういった詐欺にまつわるような連絡等が実体するのか、その辺もちょっと教えていただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

新型コロナウイルスに関する詐欺という面では、ほとんど通報というのはございません。一般の通報のほうが多い状況にありますので、これに準じた通報というのは、今ほど申し上げたもののほか少しありますけども、それも先ほど申し上げましたマスクが高いとかいう話の内容になります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

こちら要望となるんですが、これからも1件も被害が起こらないような、また対応をしていただきたいと思っておりますし、市民の皆さんに分かるような相談窓口の明確化にぜひ努めていただき、本当にいざ何かあったときに対応していただければというふうに思います。よろしくお願いします。

続きまして、家庭学習環境の整備について、リモート環境におけるWi-Fiの設備は不可欠と考えるが、投資に対する支援策はお考えかについて担当課からお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（富永浩文君）

おはようございます。

お答えいたします。

市長答弁にもありましたが、G I G Aスクール構想による取組を進めながら、まずは1人1台の端末を整備する。その後、引き続いてW i - F i等の通信環境の整備を行っていきたいと考えております。

通信費の問題ですけれども、通信費については、もう既に整備を行い、運用しているご家庭も8割方ございます。既に運用している家庭の通信費と合わせまして、これから通信を行っていく、整備しなきゃいけないご家庭の通信費についての支援について、今後検討していきたいというふうを考えています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

よろしくお願ひいたします。W i - F iの環境整備をすることで、イニシャルコストの負担をすることはできたとしても、なかなかランニングコストに関しては受益者負担が増となることから、家庭学習のセルラー回線のモバイルを活用するなどいろいろな工夫が考えられます。先般の滝川議員の答弁の中にも公民館を拠点としたところで、そのW i - F i環境を使うという答弁もあったかと思いますが、今後も研究を続けていただき、一日も早い家庭学習環境の整備に取り組んでいただきたいと思ひます。

続いて大きな3番、リモート社会を見据えた糸魚川市の取組について質問を移したいと思ひます。

(1) 31社による「オンライン版糸魚川就活フェア」の件でございますが、いま一度、担当課から詳しく内容を教えていただきたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

オンライン版就活フェアにつきましては、当初、従来と同じように集合しまして行う予定にしておりましたが、一度に多くの方が集まるのは、この時期に不適切だということで急遽オンラインに切り替えて行ったところでございます。

今回は、全ての業者からご参加いただくのではなく、求職されている方からご希望のあった事業者の方から参加いただいて、必要最小限で行ったところでありますが、今後は全ての業者の方からご参加いただけるような方法につきましても検討してまいりたいというふうと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

本来、オンラインの利点を考えれば、主催者、参加者が移動しなくてよいということですが、移動しなくてよいならば、企業説明会の時間帯が31社が違う時間帯で開催することで、就活フェアに参加する人は、多くの説明会に参加することが可能になるかと思ひます。マッチングし

た事業所が、31事業所中、8事業所ということではありますが、3密を防ぐためのコロナ禍の対応だけを考えるのではなく、オンライン説明会という性質であれば、1人1社というマッチングありきではない、企画側のオンラインの展開と事前の参加者側への希望聴取の取り方があると考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ご指摘のとおり、今、全国では様々な企業がオンラインを使った説明会等を行っておりますし、大手のリクナビですとかマイナビでもいろんなやり方が取り組まれておりますので、また、それらを参考にしながら多くの事業所の皆様の企業が、求職者に伝わるような説明会、就活フェアについて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

説明会に参加者が多ければ多いほど、企業側のアピールにも力が入ると思います。糸魚川市には、魅力のある企業、働きがいのある職場もたくさんあると考えております。少しでも多くの説明会、参加者に糸魚川市内の企業に触れていただく努力をしていただければと思います。

(2)のほう、参りたいと思います。リモート機能を駆使した議会運営における法令整備の件について、再度質問させていただきたいと思います。

例えば議会会期中に糸魚川市役所内においてクラスター感染が発生したとします。今のうちにリモート機能を活用した会議による審議ができるように備えれば、感染拡大の防止にもつながります。これらも想定し、あらかじめ法整備をしておくことが必要であると考えます。冒頭でも申し上げましたが、1人も取り残されることのない包摂的な対応と質の高い成長を成し遂げなければなりません。

世の中はすさまじいスピードで進化し続けております。そんな中、ある企業の84歳と高齢な方が、「東野君、今度Skyperで連絡取り合うまいか、アカウントを取ってくんない、俺も使ってみたい」という前向きな方も実際に存在いたします。84歳の方です。糸魚川市議会においても世の中に後れを取らないように努力してまいりたいと考えますが、改めて行政側の考えをお聞かせいただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

議会側のほうでもリモート会議、委員会等の開催の導入等をご検討されるということであれば、行政も合わせまして、一緒になってその導入方法、手法、整備について、併せて検討してまいりた

いというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ぜひ議会、行政と一対になって整備のほうを進めていければなというふうに思います。よろしくお願いたします。

続きまして、市内小・中・高校生の部活の代替大会が観戦できる無観客ライブ配信について、再度、担当課から見解をお聞かせいただきたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

穂苺生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 穂苺 真君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（穂苺 真君）

お答えいたします。

先ほど市長のほうから、ライブ配信については困難であるというお答えをさせていただきました。これにつきましては、著作権の問題や肖像権を侵害してしまうという問題、それから、種目によりまして細かな規制があるということで難しいというふうにご答弁をさせていただいておりますが、主催者のほうで撮影、それから編集等を行っていただきまして、先ほどの問題等をクリアしていただければ、糸魚川市のほうでやっておりますYouTube糸魚川チャンネルのほうを使って配信するということは、可能であるというふうにご答弁しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

主催者側の理解、つまり一番問題になってくるのが肖像権、こちらの問題になってこようかと思うんですけども、主催者側がしっかりその辺の準備と整備をしていただければユーチューブで配信が可能という回答いただきましたので、お話持ち帰りしたいと思います。ありがとうございます。

続きまして、（4）サテライトオフィスとコワーキングスペースの件についてでございますが、サテライトオフィスの誘致、コワーキングスペース、テレワークオフィス、これらの設置をするにしても中身となる仕事があれば、いつまでたっても糸魚川市として支援策を講じることは難しいと考えてます。糸魚川市が持つネットワーク、特に東京糸魚川会や関西糸魚川会の方々にも多くの経営者の方々がいらっしゃるから、既に投げかけのほうはされていることと思ひますが、可能性を引き出していただければと常々考えておりますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

テレワークの環境を整えるために、今、市ではテレワーク教室を開設しまして、その働き手とな

る人ですとか、市としてのテレワークに対する取組についてアピールしているところでもあります。おっしゃるとおり仕事を頂かなければいけませんので、今言われました東京糸魚川会、また関西糸魚川会、またそのほか地元出身で起業されている方も大勢いらっしゃいますので、そのチャンネルも生かしながら、今後進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

東京糸魚川会という会の団体名の名前を出ささせていただいたんですが、私もある件でお願いさせていただくことがありましたが、やはり同郷の糸魚川ということで絶大な応援を頂いた経緯がございますので、こういった話は本当遠慮なくお話できる機会があれば、推し進めていただきたい、そのように思います。

4番目のGo To Travelキャンペーンについてでございます。

(1) 糸魚川市において、コロナ禍の収束を見据え、着地型観光の提案と発信について、どのような工夫をするのか、いま一度、担当課にお伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

このコロナ禍になりましてからは、今徐々に緩和傾向にありますが、人の動きはやはり遠くから近く、県内ですとか隣県地域での動きが盛んになってくるというふうに思われております。

そこで、当市のジオパークですとか様々な体験メニューを生かした修学旅行について提案できるように今取り組んどるところでありまして、インバウンドから俗に言うマイクロツーリズムに向けた取組が必要であるというふうに考えておりますので、また、関係の皆さんと連携・協議をしながら取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

少し小耳に挟んだんですが、現在、観光協会が進めている地域おこし企業人の方が入院されているということを伺ったんですが、これからコロナ禍の収束を迎えるに当たり、重要な役割を担っていたかなければならないと考えますが、まず、病状がどうなっているのかと、それから、今後どのような取組を一緒になってやっていくのかお聞かせいただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、日本旅行から来ていただいている地域おこし企業人の方につきましては、ちょっと事故があ

りまして今休んでいる状況でありますけども、体調は回復のほうに向かっているというふうにお聞きしております。

企業人からは、旅行会社での経験を生かしまして、今インターネットによる体験メニューの試験販売でありますとか、デスティネーションキャンペーンについて担当をしていただいていたわけでございます。今後、先ほど申しました県内での修学旅行等も見据えまして、今、日本旅行株式会社とも一体となりまして、連携を深めているところでありますので、また、活躍について期待していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

地域おこし企業人である担当の方の早期の回復をお祈りしますが、糸魚川市に限らず、今後は地方の観光が注目を集めるときであり、大切な時期であると考えております。糸魚川市の観光にとって成果が現れなければ、800万円の予算を棒に振ることになると考えております。そのような状況にならないように再度お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

負担金は800万ということなんですけども、その大部分が交付税で入ってくるということもありますが、いずれにいたしましても多額の経費をかけておるわけでありますので、民間の持っているノウハウを十分に發揮していただいて、糸魚川市の観光に寄与していただきたいというふうに考えておりますし、そのように進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

よろしく申し上げます。

（2）マイコミ平に向かう林道「福来口線」の修復整備について、開通の見通しについて、いま一度お伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

おはようございます。

現在、福来口線につきましては、地滑り災害として国庫災に認めていただくよう手続を進めているところであります。今後、県・国との協議後、7月に災害査定を受けたい、その後、9月頃に契約発注をしていきたいということで考えているところであります。今後も引き続き、早期の復旧・

開通に向けて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

9月頃の発注ということでございますが、その現場の状況も踏まえてのことなんでしょうが、開催時期というのは、やはりなかなか見通しが、開通時期というのはなかなか見通しが立たないような状況でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

見通しにつきましては、また発注をして工事の進捗状況を見て、国庫災ということになりますので、必要な手続、また議会等々へのまた手続等々の生じることというふうに承知しておりますので、そういった点を見極めながら、またしっかりと進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ちょっとごめんなさい、しつこいようなんですけど、来年の夏頃とかって何とかなってますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

お答えします。

今現時点では、来年の夏ということでお答えできる状況ではございませんので、またしっかりと精査しながらお答えしていきたい、しっかりと取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

見辺産業部長。〔産業部長 見辺 太君登壇〕

○産業部長（見辺 太君）

私のほうからもお答えさせていただきたいと思います。

福来口線の災害につきましては、地滑りということでかなり大きな滑ってる状況がございます。そのような中で、今現在、査定設計書を作って、課長が申しましたとおり7月に査定を受ける状況でございますが、市の査定設計書が国に認められるかどうかといったこともございます。そのような中で課長が申しましたとおり、なかなか工期についていつ頃終わるといったことについては、少し不透明なところがまだございます。

ただ、かなり大規模に崩れておりますので、9月に発注したとしても、通年ですと早々と雪が降れば、福来口線もかなり上のほうでございますので、なかなか単年度で工事は難しいかなというふうには私も思っております。

ただ、雪の状況とかそういったことも含めて、夏に終わればいいですけども、なかなか断定的にはお話は難しいかと思っておりますが、なるべく早くできるように努めてまいりたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

続いて、(3) トワイライトエクスプレスの経済活動についてでございますが、先ほども飲食店と連携してというご回答を頂きましたが、通年で経済活動をするのは難しいと考えますが、トワイライトエクスプレスの設置により、多くの観光客を見込めるのではないかと考えます。市内のお客様も見込めると思います。要は、そこで経済活動をすることで完結するのではなく、スポット的に市内の循環につながるようなイベントを開催することが重要であると考えます。例えば今回、市内飲食店においてたくさんのテイクアウト、デリバリーの商品が提案されました。それらをそのトワイライトエクスプレス号の所で購入いただくことで、市内のお店を知っていただくきっかけになると思いますし、サービス券などの添付をすることで、次の経済活動にもつながると考えます。あくまで例ですが、こういった利活用について、どのようにお考えかお聞かせいただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオパルに今度設置、今されましたけども、トワイライトエクスプレスにつきましては、車両が非常にリアルに再現されておりまして、プレミアム感といいますか非常にきれいな状況でありますので、プレミアム感を保ちながら、その雰囲気味わっていただくような形で活用したいと考えております。通常は無料での開放を今想定しておりますけども、通年でそこで飲食をできるかどうかというところは、またJRのほうとも今協議を進めているところでありますが、現時点では、ツアーでの商品ですとか何か特別なイベント等において、市内の飲食店と連携した取組についてできないかということで進めております。

また、ジオパルから各店舗、各観光施設への周遊ですとか回遊につきましては、またそれぞれの店舗の皆さんともお話をする必要はあると思っておりますけども、地域内での経済の循環をするというのが1つの目的でありますので、それらについても合わせて進めていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。私も大変待ち遠しい施設とっておりますし、またそういった情報を市内の商店街とかそういったところに情報提供していただければというふうに思います。よろしくお願ひします。

続きまして、（４）の大糸線において「雪月花」を運行する観光商品の検討について回答いただいたんですが、トワイライトエクスプレス同様、通年で大糸線を走らせることは、多額の経費がかかることと、技術的に相当なご苦勞もありそうですが、Go To Travelキャンペーン期間中とされる来年の3月までの期間に、もし一度でも走らせることができれば、糸魚川市にとっても目玉商品になり得ると考えます。最悪でもコロナ禍が恐らく収束するであろう2022年は、大糸線開業の65周年の節目になるので、ぜひ検討していただきたい、このように考えておりますがいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

雪月花の大糸線運行、これは市長答弁のとおりでございます、今の段階で旅行商品等の計画というものはございません。

ただ、平成29年の秋に大糸線の60周年の記念事業の一環といたしまして、雪月花の特別運行が行われたという実績もございます。大糸線の沿線、秋に走るとる雪月花の姿は、非常に美しい、私であっても乗ってみたいなと思うような、それだけ強い観光素材であると私も考えております。現在、大糸線に関しましては、大糸線活性化協議会というもので沿線の、糸魚川市含めて沿線市村と、あと新潟、長野両県、あとJRがそこに加わって利用状況の大変厳しい大糸線を何とかしなければいけないという思いから、観光、生活両面で様々な取組を行っております。そこにまた、市民の皆様、観光商業関係の皆様が関わっていただくことで、その活動というものに厚みというものが出てくるかと思ひます。そういう大糸線の活性化の取組を一層充実させることによって、再び大糸線の中を雪月花が走れるような、そういう状況を実現できればなというふうに考えております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

いろんな雑談の中で、例えば大糸線にトロッコ電車を走らせたらどうだとか、そういった雑談も聞こえてきます。実際に白馬の方で、青年会議所のOBじゃなくて現役の方なんですけども、トロッコ電車を走らせて大変な集客を得たというお話も伺っております。様々な大糸線活性化のためのイベント、雪月花にとらわれず、ご一考いただければ、そういうふうに考えてます。

続きまして、5番目のグランフォンド糸魚川開催の支援についてご回答いただきました。グラン

フوند糸魚川については、本年の開催はなかなか難しいと関係者の方々に伺っております。

しかし、糸魚川にとってもビッグイベントでしたので、再度、新たな開催ができるのならば糸魚川市のご協力が不可欠なイベントと思っております。改めて担当課より、何年後かの開催になるかわかりませんが、ご支援のお約束が頂けるかお伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

グランフوند糸魚川につきましては、大変全国的にも人気のあるサイクルイベントでありまして、多数の皆さんからおいでいただいたわけでありまして。残念ながら15回で終了して、現在は新たなサイクルイベントということで、ツールド糸魚川実行委員会の皆さんにおかれまして準備を進めておられるところであります。

ただ、大変このサイクルイベントの実施のガイドラインというのが非常に厳しいということでありまして、従来のような物すごい数の自転車が集まれるのかどうか、また、いろんな制約がございまして、今、実施時期につきましては、ちょっと遅れるかもしれないという話もお聞きしております。いずれにいたしましても糸魚川市として必要な支援はできるだけやって、開催につなげていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

開催できるならば、ぜひともご支援のほうをお願いしたいと思います。

開催時期が7月から8月と予測されるGo To Travelキャンペーン、大変わくわくするようなネーミングでございますが、結局は、市外へ旅行に行くためのキャンペーンであり、1.7兆円の予算規模とは裏腹に糸魚川市の観光にも十分な目玉商品をそろえないと、市内経済にあまり過大な恩恵は望めないと考えております。糸魚川駅は、北陸新幹線沿線上で一番乗降客が少ないと一部報道にもありました。この現実を捉えていかなければなりません。

現在、十日町市観光協会では、「市民で泊まって応援キャンペーン～十日町に泊まらNIGHT～」という、旅行代金が30%キャッシュバックされるキャンペーンが大変好評で、「つなぐ、にいがた。県民宿泊キャンペーン」と複合で利用すると、さらにお得であるとのこと。そして、このキャンペーンの特徴は、あくまで市民向けから始まって、これから6月19日以降は、十日町以外の県内にもキャンペーンを十日町市が広げていくというところでもあります。

糸魚川市においては、糸魚川元気応援券と「つなぐ、にいがた。県民宿泊キャンペーン」との複合での使用が可能かと思っておりますが、おおむね糸魚川元気応援券については、多くが飲食店で消費されることが予測されます。糸魚川市における観光宿泊業や旅行代理店の多くの企業は、売上前年度対比8割から9割減と伺っております。市内で循環が見込める観光にちなんだ応援キャンペーンの検討ができるか伺いたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

現時点において旅行者ですとか宿泊施設への支援につながるものとしたしましては、7月1日から販売が始まりますと言われました元気応援券、あと今、新潟県で始まっております県民宿泊キャンペーンということでもあります。元気応援券につきましても併用は可能でございますし、なるべく多くの皆さんからお使いいただきたいというふうに考えており、また、業界のほうでも新聞折り込み等のチラシを入れられたりして頑張っていくというふうに承知しております。今後につきましては、今のそれらの施策につきまして、状況を判断しながら次の手について考えていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

十日町も結局複合でさらにお得というようなことで方策を打ち出しておりますが、実は、県民宿泊キャンペーンが適応されない宿があるためにそういう施策に出たということを知っておりますが、糸魚川市も先ほど申し上げましたとおり元気応援券、なかなか市内の宿泊に結びつけるのは難しいのかなというふうに思っております。

結局は、糸魚川市、糸魚川市民の皆さん、糸魚川市が一体となって地域を盛り上げる必要があるなってくると考えますし、そういった手だて、訴えが必要になってくると思いますが、その辺について伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

おっしゃるとおり宿泊をされた場合、飲食も伴ったり、お土産も買われたり、また周辺の観光施設への波及効果ということがあって、宿泊というのは非常に地元の経済にお金が回るものとしては、大変大きいものがあるというふうに考えておりますので、それらも踏まえまして、今後の取組について検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

観光業の方で、本当に8割、9割売上げが減少してしまった大変苦しい思いをされておりますので、次なる手のほうを期待しておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、1番、最初のコロナ禍における糸魚川市経済、市内経済への影響について、（1）から伺いたいと思います。

市内総生産の落ち込み予測について、再度質問させていただきたいと思いますが、前回、滝川議

員の答弁の中にもあった268件の緊急事業継続給付金の内訳で、宿泊・飲食が47%、卸・小売業が19%、建設が8%、残り17%の内訳を教えてくださいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

先日申し上げましたのは、全員協議会があった6月8日現在の数字で申し上げましたが、最新の数字で6月10日現在ということで申し上げたいと思います。

飲食業につきましては37%、卸・小売が18%、建設業が10%、漁業が8%、サービスが6%、宿泊業が5%であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

先ほどの答弁の中にもあったんですが、市内総生産のほとんどが製造業に当たることから、給付の実態だけでは落ち込みがなかなか想定できないという回答であったかと思います。分かる範囲で結構ですので、コロナ禍による製造業の落ち込みを、いろんな情報が入ってこようかと思いますが、どのような状況かお伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

お聞きするところによりますと、製造業につきましては、いろんな業態とございますので、サプライチェーンの影響を受けて落ち込みがあるというところもお聞きしますし、今はそれほどでもないし、今後も想定はしてないというところもお聞きしております、具体的な数字では把握していませんが、全体としてはそのようなことから市の主要産業である建設業の先行きが不透明なこともありますので、全体としては状況の予測は困難であります、いずれにしても今ありました旅行業、宿泊業、飲食業につきましては、かなりの落ち込みであるというふうに認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

それでは少し、特に落ち込みが著しい飲食業に焦点を当ててみたいと思いますが、先般頂いた数字を基にして挙げさせていただきますが、市の緊急事業継続給付金、飲食店だけで見ると128社で2,560万円の支給、国の持続化給付金が128社、推計で1億2,800万円という数字を答弁いただいております。これらは会計処理上、雑収入で処理され、いずれも課税されるということになります。市内総生産の落ち込みを抑制するには、いかに42億4,200万円の特別定額給付

金の給付金が個々の口座に滞留せず、糸魚川元気応援券などの地域通貨と並行して、市内の経済に循環するかにかかっていると考えます。要は、これらの経済政策や定額給付を打っても、落ち込みは抑制できないという見解なのか、再度伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今言われましたように、特に緊急事業継続給付金の申請にもありました売上げのデータによりますと、飲食業が前年の同月に比べまして約66%の減という状況になっておりまして、金額的には旅行業、宿泊業、飲食業の3業種の合計で、一月当たりの減収額は約2億5,000万円というふうになっております。給付金につきましては、42億円、糸魚川市に来るわけなんですけども、それにつきましても貯蓄に回される方、生活に使われる方、それぞれありますので一概には言えませんが、なるべく今のやっておりますプレミアム商品券ですとか元気応援券、またさらに、これに続く施策についても検討を行いまして、少しでも市内の経済に回して、また、飲食店等に回しまして、それをまたサプライチェーン等を循環させるような形で、うまく市内で循環して景気の浮揚が図られればベストというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

今、課長のほうから理想の部分でお話いただきましたが、続いて、糸魚川市における失業や廃業の実態、防止に向けた取組について、再度伺いたいと思います。

今後、コロナ禍の影響を受けて懸念することは、経営が立ちいかなくて倒産することもそうありますが、収束の見えない状況が続くことで経営に対してモチベーションが低下し、事業継続に夢や希望を失うことでもあります。様々な施策によって一時的にモチベーションを維持することができると思いますが、小さな小売店や飲食店、宿泊業は、地域内経済の循環が肝になり、糸魚川市内に住んでおられる方々のお力添えなくして生き残ることはできません。

糸魚川市役所におかれましては、緊急事態宣言が発令されてから地域の飲食店が提供するお弁当等をたくさん注文していただいております。宣言が解除されてからも飲食店を積極的に利用していただいている様子を拝見しております。本当にうれしく思いましたし、改めて感謝申し上げたいと思います。

飲食店に特化した言い方になると思いますが、廃業や失業の最大の防止策は、地域内経済循環を糸魚川市役所や地元金融機関などの職員各位が協力してくださったことであると考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

これまでもコロナ禍になる前も、地元消費推進協議会ということで糸魚川信用組合が事務局をやられてますけども、そこを中心に何とか地元のお金は地元で回しましょうという取組がなされてきたところでございます。

また、今回もこういうタイミングで、例えばテイクアウト、デリバリーですとか、またタクシー会社も巻き込んだタクシーデリバリーという方法も考えられまして、市民、市内の企業全体で市内の飲食店を応援して、何とかそれにつながるサプライチェーン、小売ですとか生産者の皆さんにも影響が渡るようにということで取り組んでいるところでございますので、今後ともこの流れで、また市民全体となって地域の経済を盛り上げていかなければならないというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

私は、常々、社会関係資本、ソーシャルキャピタルを育む重要性を訴えさせていただいております。言葉だけではない、官民連携を実践していくためのこのたびの機会はチャンスであると考えています。民間も行政だけに頼らない財源の確保や新たな売上げ確保のために知恵を絞っております。日本では、大規模災害等で社会関係資本が豊かな地域では、復興のスピードや充実度が高いことが実証されています。これから第2波、3波がどのように地域経済に影響を及ぼしてくるかわかりませんが、地域の小さいお店に関しては地域でしか守れないと思いますので、変わらないお力添えよろしくお願ひしたいと思います。

(3)の経済活動が再開される中、失業するか分からないという不安から消費の落ち込みは続くと考えられるが、創成塾開催について懸念材料はないかということで、再質問させていただきます。

糸魚川市役所においては、コロナ禍の影響を受け、市内飲食店や観光にまつわる業種の方々からたくさんのご相談があったことと思いますが、私自身も昨年暮れから年が明けた1月に創業された創成塾生を初めとする飲食店経営者の多くの方から聞き取りをいたしましたところ、今月の支払いすら大変だ、現金が必要である、売上げの見通しが全く立たないのご相談を受け、4月の頭、担当課に相談させていただきました。担当課からは、糸魚川市の威信にかけて創成塾生を守りますと力強いお言葉を頂き、その後、4月20日に新型コロナウイルス感染症対策補正予算が専決処分で見舞われました。その後の支給においても迅速な対応で、国の対応と比べても糸魚川市は非常に早く対応していただいたと喜びのコメントも多く頂いております。当初は国の補正予算についても確定要素がない中、市の財政調整基金を切り崩してまで財源を確保していただきました。素早い対応に改めて感謝申し上げます。

これら糸魚川市の対応と実績が新規創業者に対して安心材料になっていると考えます。申し込みいただいた2020年創成塾12名の方々に、糸魚川市で創業してよかった、チャレンジしてよかったと思えるサポートを今後引き続きお願ひしたいと考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

新規創業者の皆さんにつきましては、国の持続化給付金は当初、創業者に対する給付はございませんでした。やっところ2次補正に来まして、それらも救えるような要件が出てきたところでございますけれども、糸魚川市につきましては、新規創業者も当初から救えるようにということで、国とは違った基準を設けまして新規創業者につきましても20万円の継続給付金を支給してきたところでございます。

今、創成塾につきましては、また今年も15人の皆さんから今現在お申し込みいただいているところでございます。この塾には、講師として専門家の方も入っておられますし、また、創業支援ネットワークということで、市や商工会議所、商工会を初め日本政策金融公庫ですとか金融機関も入っておりますので、適時適切なアドバイス、また支援をしてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

続きまして、4番目の糸魚川市として第2波の備えとして考えられる施策について、再度伺いたいと思います。

糸魚川市の企業存続のために第2波の備えも期待申し上げるところでございますが、コロナ禍における一連の騒動で民間企業や行政において共通してあぶり出された問題が、感染拡大が心配される施設やお店を運営できない状況下で、人件費や建物を維持管理するための固定費を確保するというところであります。私の知り合いで、ある企業の代表者のお話を伺ったところ、コロナ禍の収束に見通しが立たないために、3年間の返済の据え置く措置を行った上で2,000万もの大金の借入れを行ったと聞いております。各企業ごとに自身が責任を持って企業を守るための努力をしております。

糸魚川市はどうでしょうか。公共施設を維持するために財源を確保することには理解はできますが、維持していくために大切な税金を投入し続けなければならない事実があります。平成28年3月に改定された糸魚川市の公共施設等総合管理指針では、2025年までにおよそ10%の公共インフラなどの収入が。

○議長（中村 実君）

東野議員、時間がオーバーしました。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございました。

○議長（中村 実君）

以上で、東野議員の質問が終わりました。

11時15分まで暫時休憩といたします。

〈午前11時04分 休憩〉

〈午前11時15分 開議〉